

“こんにちは”から(はじめよう)

中野区国際交流協会の日本語講座

中野区に住んでいる外国籍の方は約17,000人。区民の約5%です。外国籍の方々が、地域で日常生活を送り、周りの人たちとコミュニケーションをうまく取るためには、日本語の学習が欠かせません。

中野区国際交流協会では、さまざまな国の人と一緒に暮らせる社会を目指し、30年以上前から日本語講座を実施。この講座に関わる人たちに話を聞きました。



にほんごを学ぼう

大教室で同じレベルの人が小グループに分かれて学習します。教えるのは、日本語ボランティア実践講座を修了したボランティア。いつからでも、どのレベルからでも、いつまででも学習することができます講座です。

また、日本語を学ぶだけでなく、節分や七夕など季節の行事も取り入れ、日本の文化に触れる機会を提供しています。今年4月末現在、約50か国、120人が日本語を学んでいます。



◀約120人のボランティアが活躍しています

▼中野区国際交流協会が独自に作成した教材



◀感染予防を徹底。「やさしい日本語」で伝える工夫も

日本語講座

大人向けは、火曜日午前・午後、木曜日夜の3クラス。その他に小・中学生向けのクラスもあります。受講料無料。登録料・教材費は自己負担。詳しくは、中野区国際交流協会へ問い合わせを

日本語ボランティアの方に聞きました

小島さん
ボランティア歴 4年
「やさしい日本語」で伝える

人に教えるのは難しいですが、毎回、講座終了後に反省会があり、ボランティア同士でブラッシュアップを図っています。教えている中で、短く、簡単な言葉で話すと伝わりやすいと実感。普段も外国の方との会話では、「やさしい日本語」を心掛けています。

できる範囲で気負わずに

外国の方に話し掛けられた時には、言葉が分からないと逃げ腰にならず、ゆっくり聞いてあげてください。私自身、海外で相手が話を聞いてくれると安心できました。気負わずに温かい関係を築いていくことが大切だと思っています。分かった時の笑顔の一つでも多く増やしたいです。

和田さん
ボランティア歴 14年



日本が、中野が好きだから～日本語講座学習者の声～

—日本語講座を利用したきっかけは

アッシャー：区役所でこの講座を教えてもらい約1年前から参加しています。日本語能力試験のN2（日本語で討論できる程度）レベル認定を目指して勉強中です。

長田：私は、全く日本語が分からないまま結婚を機に来日。幾つか近隣の教室を見学した中で一番教え方が上手だったので、こちらの講座を選びました。

テータム：日本に住み始めてすぐにこの講座を知りました。充実したプログラムを無料で利用できることが魅力的です。

—日本で困ったことはありましたか

アッシャー：住む家を探すのが大変でした。外国人だと貸せないという物件が多くなかなか見つかりませんでした。

長田：考え方や文化の違いに戸惑いました。子どもが小学校に入学する際の手荷物など、日本人には当たり前のことでも、分からないことがたくさんありました。

テータム：周りのみなさんはとても親切で、あまり困ったことはありません。でも、ごみ出しルールは難しく、直接集積所に連れて行くなど、具体的に教

マリナ・アッシャーさん

カナダ出身。
在住歴3年。
好きな漢字は「夢」



えてもらえたらより良かったなと思いました。

—受講して良かったことは

アッシャー：中国やフィリピンなどさまざまな国の方と一緒に目標に向かって勉強できることがうれしいです。

長田：ボランティアの方はみなさん言葉を教える技術が高く、日頃から勉強していることが伝わります。言葉だけでなく、親戚との付き合い方など日常生活のことも相談できるのが助かります。

テータム：日本語で自分の考えを伝えられるようになり、区役所などの手続きが以前よりスムーズになりました。季節の行事も楽しいです。ひな祭りでは、折り紙でひな人形を作りました。

長田イーティンさん

台湾出身。
在住歴10年。
好きな日本語は「三方よし」



アーロン・テータムさん

アメリカ出身。
在住歴2年。
好きな日本食は「焼き魚(ホッケ)」



—中野のみなさんへ

アッシャー：一度説明されただけでは分からないことがあります。時間が掛かるかもしれませんが、もう一度説明してくれるとうれしいです。緊張してしまう気持ちも分かります。でも、気楽に接してください。

長田：中野はとても住みやすい街だと思います。今では地域に顔見知りが増え、お祭りでお神輿を担ぐことも。ずっと住み続けたいですね。

テータム：近所の人たちはフレンドリーで、おかずを分け合うこともあります。私はもっと日本語が上手になりたいので、間違えた時は、指摘して直してくれるとうれしいです。

学習者に聞きました

Q 英語と日本語どちらで話してほしいですか



外国人だからといって英語が話せるとは限りません。大半の方が日本語で話し掛けてほしいと回答しました。

Q どんな時にうれしいと感じますか

- 日本の分からないことを教えてくれる
- 困った時に「大丈夫ですか」と声を掛けてくれる
- あいさつをした時に返事をしてくれる
- 文化や考え方の違いを理解してくれる

など

Association for Nakano International Communications

中野区国際交流協会 (ANIC)
中野2-9-7なかのZERO西館
☎(5342)9169
FAX(3383)0728
✉anic@nifty.com

☆平日午前9時～午後5時
日本語講座の他、さまざまな催しを開催しています。「日本語ボランティア実践講座」は10月ごろに募集予定です。



◀詳しくは ANIC で確認を

ボランティアとしてANICの活動に参加したい方は、気軽に問い合わせてください



▲ANICのマスコット。左からニック(NICK)とアニー(ANNY)